蒲郡市教育委員会令和７年８月定例会会議録

開会日時　令和７年８月２７日（水）午後３時００分

閉会日時　令和７年８月２７日（水）午後４時０９分

場　　所　蒲郡市役所６階６０１会議室

○出席委員の氏名

教育長　壁谷 幹朗　　教育長職務代理者　稲葉　千穂子

委　員　田中　順　　委　員　松井　繁　　委　員　髙橋　民枝

●説明のために出席した者の職氏名

教育部長	岡田　隆志	教育政策課長	三浦次七郎
学校教育課長	戒田　正敏	学校給食課課長	竹下　暁
生涯学習課長	市川　貴光	スポーツ推進課長	大岡　雅道
博物館長	竹内　真治	書記（教育政策課長補佐）	山田　真実

議事日程

１　７月定例会の会議録の承認

２　教育長の報告

３　報告事項（各課報告事項）

４　その他

・がまごおり「みらいキャンバス」基本計画について

出席者５名により定足数を満たしたため、令和７年８定例会は成立。

１　７月定例会の会議録の承認

事前に届けられた会議録については意見なく承認された。

２　教育長の報告

（１）蒲郡北地区個別計画に基づく基本計画の策定に向けて

（２）蒲郡市中学校新制服説明会を終えて

（３）その他

①　嬉しい子どもたちの頑張り

②　市議会９月定例会について

３　報告事項（各課報告事項）

・教育政策課
・学校教育課
・学校給食課
・生涯学習課
・スポーツ推進課
・博物館

＜質疑応答＞

○稲葉委員

図書館でロープを使ったワークショップを開催していただいたが、図書館での開催ということでロープにまつわる話が出ている本を探してほしいとお願いしたところ、多くの本を探していただきました。図書館司書のレファレンス能力の高さを感じさせていただきました。ワークショップ参加者も予定よりも多く、開催したグループも喜んでおりました。

○高橋委員

図書館は子どもたちの夏休みの居場所になっていてありがたいと思っています。小中学校学習支援の資料依頼の報告があったが、学校としては大変ありがたい。最近はタブレットで何でも調べることができる時代ではあるが、子どもたちがたくさんの情報の中から自分で正しい情報を得ることができるような考える力をつけるためにも、ぜひ多くの学校に利用してもらいたいし、図書館支援員さんも引き続き支援をしていただけるとありがたいです。

○田中委員

修学旅行費用が高騰していると思うが、保護者負担等も多くなっているのではないですか。

●学校教育課長

各学校においては行程を工夫するなど、旅行費用を下げる努力はしております

が、委員おっしゃられるとおり、どうしても保護者負担が多くなっている状況はございます。現時点で、旅行費用の補助などは実施しておりませんが、他市の状況等も調査しながら検討していきたいと考えております。

○教育長

蒲郡南部小学校４年生の「あったらいいな、こんな図書館」は、１０月１日の学習指導研究会の授業で行うものになります。子どもたちは４月から豊橋に見学に行ったり、図書館のことについて勉強したいという気持ちが非常に高まっており、大変楽しみにしている授業であります。

○教育長

１０月３日には、福井貞子基金を活用しての芸術鑑賞で、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏を聴くことを予定しています。その中では、西浦中の小澤校長が名古屋フィルハーモニー交響楽団の指揮をするという企画もあります。

○教育長

現在、北地区の新しい学校の校名を決めています。素敵な校名の候補がいくつかある中で、そこから子どもたちや地域の方に投票していただき、最終候補を選び決定していくことになります。

４　その他

・がまごおり「みらいキャンバス」基本計画について

教育政策課長説明

＜質疑応答＞

○松井委員

運営は民間ですか。

●教育政策課長

運営も含めて民間で行います。

○松井委員

きっととても良い施設になると思うので、施設の予約が取れないということが起きるのではないでしょうか。今の市民会館でも全然予約が取れないので、新しい施設でも利用者から苦情が出る恐れがあるので、そのあたりはしっかり管理をしてもらいたいと思います。

●教育政策課長

今の施設で予約が取れないという声は存じあげております。市の行事でかなり前から押さえている場合もありますが、ある意味一般の方の利用を妨げている面もありますので、市が使用する場合でも必要最小限の予約とし、一般の方が少しでも予約を取りやすい状況を作っていきたいと考えております。

○松井委員

市民会館はなくなってしまうのでしょうか。現在、耐震工事をしているのではないのか。

●教育政策課長
　市民会館の今後の利用は決まっていないので、基本的にはなくなると思っています。耐震と長寿命化は違って、耐震はＩＳ値を確保するための補強であり、長寿命化はその施設を長く使用していくためにもっと大がかりな改修工事を行うものになります。今市民会館や図書館で行っているのは耐震だけなので、みらいキャンバス開館までのつなぎで、安全と安心を確保するためのものになります。
〇松井委員
　はたちのつどいもこの施設で実施していく想定ですか。
●教育政策課長
　その予定だと思います。現状、大ホールだけでは足らなくて、中ホールも使用してサテライトで実施しております。はたちのつどいだけではなく、音楽のまちがまごおりですとか文化芸術に触れるための、そういった目線でメインホールはどれくらいの席数が必要かを検討しました。基本構想では１，０００席であったのが、基本計画では８００席に減っていますが、これは、この施設が変わっていく施設であるという考え方のもと、例えば、ある時は配信で見てもらったり、ある時はとなりのガラス張りの連続する部屋があれば、そちらから見てもらいながら音だけは部屋にも聞こえる、といったいろいろなシチュエーションが考えられます。
〇松井委員
　８００席というと、ある意味ちょうどいいサイズではあるが、何か大きなことをやろうとすると足りないくらいの規模ではないかと思います。そういった時は競艇場とかを使ってもいいのではないかと思います。

〇稲葉委員
　駐車場がやはり少ないのではないかと感じてしまいますが、公共交通機関、たとえばバスとかで、みらいキャンバスの近くにバス停ができる予定などはあるのでしょうか。
●教育政策課長
　現状は新たなバスの構想まではございません。駐車場の数も日常使いの中では適正な数だと考えております。イベント時には、市役所周辺の市職員駐車場や民間駐車場を活用して対応していくものと考えております。
〇稲葉委員
　子どもたちの居場所となる以上、やはり公共交通機関がないと利用しにくいのではないかなと思います。
〇高橋委員
　くるりんバスをうまく使ってお年寄りでも来やすくなるといいなと思います。

・事務局
　次回の教育委員会定例会は、９月２４日（水）午後２時００分から博物館にて行います。